

試合番号 : 251		試合会場 : 有明コロシアム				観客数 : 7,905				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:38		試合時間 : 02:38		主審 : 山本 晋五		副審 : 城 智人		
東京グレートベアーズ		通算 13勝 18敗 ポイント : 43		25 第1セット 16		日本製鉄堺ブレイザーズ		通算 16勝 15敗 ポイント : 47		
監督コメント	本日は本当にたくさんのお客さんに囲まれて、楽しい試合をすることができました。感謝致します。私たちは第5セットに入った試合はいつも負けてしまっていたのですが、今シーズン初の第5セットをとり、勝つことができました。要因としては、サイドアウトを安定して取ることが出来たことだと思います。また明日は更なる観客の方に囲まれて試合ができることを励みにして、素晴らしいバレーボールをお見せできれば嬉しいです。応援ありがとうございます。			3	28 第2セット 30		2	ゲームの出だしから相手の勢いに押されて後半後半にまわってしまい、押し返すことが出来なかったのが敗因です。課題を修正して、また明日の試合に臨みます。本日もたくさんの応援、ありがとうございます。明日もよろしくお願いいたします。		
	21 第3セット 25									
	25 第4セット 21									
	15 第5セット 13									
	要約レポート									
東京グレートベアーズがホームに日本製鉄堺ブレイザーズを迎えるの一戦。第1セット、序盤から東京GBはアラウージョ、柳田の多彩な攻撃が決まり、一歩リードする。対する日鉄堺BZはバーノンにボールを集め反撃を狙うが、東京GB古賀を筆頭に粘り強い守備でコートにボールを落とさず、勢いに乗った東京GBがセットを先取した。第2セット、序盤から日鉄堺BZはバーノンの力強いスパイクで善策に点を重ねリードする。中盤、東京GBは後藤、山田のブロックや柳田のスパイクが決まり、徐々に点差を縮める。終盤、デュースとなり、東京GB・後藤と日鉄堺BZ・船野の打ち合いになるが、最後は日鉄堺BZが押し切りセットを奪取した。第3セット、東京GBは柳田のサーブエースや山田のクイックで点を重ねる。対する日鉄堺BZはバーノン、迫田のスパイクが決まり、一進一退の攻防となる。終盤、日鉄堺BZは松本のクイックや迫田のサーブエースで点差を広げる。東京GBはアラウージョ、小田嶋の攻撃で点を重ねるも、日鉄堺BZが逃げ切りセットを連取した。第4セット、日鉄堺BZは松本の速い攻撃、東京GBは多彩な攻撃で終盤まで互いに一歩も譲らない攻防を繰り広げる。最後は東京GBが柳田のスパイクで連続得点してセットを取り、フルセットとなる。第5セット、日鉄堺BZは船野が守るとともに躍動し、チームに勢いをつける。対する東京GBは古賀のレシーブが光り、それに応えるようにアラウージョのスパイクで点を重ねる。最後は東京GBの堅い守備で日鉄堺BZのリズムを崩し、東京GBが激戦を制した。										
試合番号 : 252		試合会場 : エレコム・ロジテックアリーナ (伊那市民体育館)				観客数 : 928				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:38		試合時間 : 01:38		主審 : 戸川 太輔		副審 : 慈眼 雅啓		
VC長野トライデンツ		通算 1勝 30敗 ポイント : 6		25 第1セット 27		ヴォレアス北海道		通算 3勝 28敗 ポイント : 11		
監督コメント	ホームゲームでたくさんのご声援の中、選手一人一人が特別な思いで挑んでくれましたが、悔しい結果となってしまいました。一人一人の戦う気持ちは大きかったのですが、少しのミスから直撃が積み重なってしまいました。全体を見るとサーブミスが多く、サーブ効果も少なく、ヴォレアスのサーブに苦しめられた試合となりました。今シーズン最後のホームゲーム、明日はよい形で締めくくれるよう、全員でしっかりと戦い抜きたいと思っております。本日はたくさんのご声援ありがとうございます。明日もよろしくお願いいたします。			0	22 第2セット 25		3	強いリーグでは勝つチャンスはそう多くありません。今日はそのチャンスを掴みとることができました。安定したレシーブや効果的なサイドアウトなど、全体的に良いバレーボールができました。また、あまりミスをすることなくサーブで相手にプレッシャーをかけることができました。第1セットが鍵だったと思います。両チームとも良いプレーをし、細かい部分で勝負を分けました。まだまだ改善の余地はありますので、明日に向けて頑張りたいと思います。みなさん、今日はライブでもオンラインでも応援していただきありがとうございます。		
	17 第3セット 25									
	第4セット									
	第5セット									
	要約レポート									
VC長野トライデンツが長野県伊那市にヴォレアス北海道を迎えるの一戦。第1セット、VC長野・工藤のアタックポイントから始まる。序盤1点を争う展開となるが、VC長野は修の連続ブロックポイントなどでヴォレアスを引き放しテクニカルタイムアウトへ。しかし、ヴォレアスも米村、椋村が連続でブロック得点し、試合はもつれる。中盤から張を中心に攻撃を仕掛けるヴォレアスが流れをつかみかけるが、VC長野は修のブロックで24-24と追いつく。この後ヴォレアスはセッター山岸が田代の速攻など攻撃に変化を付けたこのセットを奪う。第2セット、ヴォレアスは外崎の好守から戸田、張がポイントを重ねる。一方VC長野は中野が攻守にわたり好プレーを見せ、前半はもつれた展開となる。中島を投入し流れを変えたいVC長野だが、戸田、田代の連続ブロックで点差を広げたヴォレアスがこのセットも奪った。第3セット序盤、ヴォレアスは米村で攻める。VC長野・下川はトレント、山田の速攻で流れを変えようとする。中盤VC長野は中野がアタック、ブロックで踏ん張るも肝心なところで決めきれず、最後はヴォレアスが椋村のサーブエースでこのセットも取り試合に勝利した。										
試合番号 : 253		試合会場 : 香陵アリーナ (沼津市総合体育館)				観客数 : 2,131				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:47		試合時間 : 01:47		主審 : 林 淳一		副審 : 服部 篤史		
東レアローズ		通算 15勝 16敗 ポイント : 40		32 第1セット 30		ジェイテクトSTINGS		通算 10勝 21敗 ポイント : 30		
監督コメント	今日の試合は、V・ファイナルステージ進出に向けて、負けないというプレッシャーの中、選手たちがしっかりと各自のパフォーマンスを発揮してくれたことが、ストレート勝利につながりました。ブロック&レシーブが機能していたので、優位に試合を進めることが出来ました。攻撃面の部分は改善が必要なのところもありますが、明日修正できるように準備したいと思います。本日は会場を一杯にいただき、ありがとうございます。			3	25 第2セット 23		0	特に第1・第2セットは最後まで戦ったが、十分ではなかったです。残念な結果になってしまいましたが、気持ちを切り替えて明日の試合に挑みたいですね。本日もたくさんの声援ありがとうございます。明日も大事な試合を控えているので多くのお応援よろしくお願いいたします。		
	25 第3セット 16									
	第4セット									
	第5セット									
	要約レポート									
V・ファイナルステージ進出に向けて1試合も落とさない東レアローズが、現在8位のジェイテクトSTINGSをホームに迎える1戦。第1セット、東レは富田、上條の連続サーブエースで序盤の流れを掴み、12-7とリード。ジェイテクトも代わって入った村山のブロック、ウルナウトのスパイクで追い上げ、21-21の同点。どちらが最終セットを打つか、という展開となった両チームだが、最後は東レがパダルのサーブエースでこのセットを先取した。第2セット、東レは伊藤山口の安定した好サーブレシーブからの攻撃や、高橋の連続ブロックでリードを奪う。対するジェイテクトはセッター河東とオポジット高橋(慶)を投入し、藤中が連続スパイク、サーブエースで得点し1点差に詰め寄る。しかし東レ上條、パダルのスパイクで終盤に得点し、このセットを連取した。第3セット、東レが高橋のブロックなどでリードを奪うと、富田、小澤のスパイク、パダルのブロックで8点差とする。東レはさらに、代わって入った山田、難波もスパイクを決め、ストレートで勝利を収めた。										
試合番号 : 254		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 2,540				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:36		試合時間 : 02:36		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 原 啓之		
ウルフドッグス名古屋		通算 22勝 9敗 ポイント : 68		21 第1セット 25		JTサンダーズ広島		通算 21勝 10敗 ポイント : 62		
監督コメント	本日も我々ウルフドッグス名古屋を応援して頂き、本当にありがとうございます。試合において、どんな状況においても闘い続けることが重要です。明日の試合もその事は変わらずに重要になると思いますので、これからの時間を有効に使って、今日の試合の課題をしっかりと分析して、明日の試合に向けて良い準備をしていきます。エントリオへお越しのファンの皆様、心より感謝申し上げます。明日はまた違う試合になると思ひますし、厳しい試合になる事は間違いないと思いますが、ファンの皆様との熱い声援と共に最後まで戦い抜きます。明日もお会い出来ること幸いです。日本国内だけでなく、世界中の方々のご健康とご安全を心より祈っております。			2	24 第2セット 26		3	ブロックの質が大きな勝因になったと思う。レセプションとアタックの質は明日の試合に向けて修正していく必要があると感じた。ファンの皆様ご声援ありがとうございます。		
	25 第3セット 21									
	25 第4セット 19									
	12 第5セット 15									
	要約レポート									
前回対戦時のリベンジに燃えるウルフドッグス名古屋のホームにJTサンダーズ広島を迎える一戦。第1セット、JT広島ラッセルのブロックタッチを狙ったJT広島・井上(慎)のアタック、ブロックが決まりセットを先取。第2セット、17-13の場面ではWD名古屋・小川がレシーブをそのままスリし、水町が決めるトリッキーなプレーもありWD名古屋が先行した。しかしJT広島・三輪がこのセット、ブロック4本の活躍で逆転に成功し、セットを連取した。第3セット、後がないWD名古屋を救ったのは先日今季での引退を発表した椿山。椿山のブロックを避けたアタックが何度も決まりWD名古屋がセットを取り返した。第4セット、長いラリーの応戦となり、特に21-16ではWD名古屋・永薬がコート外まで飛びつき、最後は高梨が強烈なアタックを決めチームに勢いをもたらした。勝負は最終セットに持ち越しとなった。第5セット、JT広島ラッセル、WD名古屋・椿山の打ち合いで試合が進む。最後はJT広島・唐川が必死につないだボールがWD名古屋のコートに落ち、JT広島が激戦を制した。										

試合番号 : 255		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 3,091							
開始時間 : 14:05		終了時間 : 16:41		試合時間 : 02:36		主審 : 森口 豊		副審 : 村中 伸					
パナソニックパンサーズ		通算	28 勝	3 敗	25	第1セット	20	サントリーサンバーズ					
			ポイント :	84	26	第2セット	24	通算	26 勝				
監督コメント	非常に惜しい試合で負けたことは悔しいですが、最後まで互角に戦えたと思います。途中出場の選手も良い動きをしてくれました。特に第2セットを逆転して取ることができたのは素晴らしいです。明日も全員の力が必要になる戦いになると思います。応援よろしくお祈りします。		2				3	監督コメント	本日もサンバーズへのご声援ありがとうございました。リーグ終盤の順位が1位、2位の直接対決ということもあり、非常にタフな試合になるとは予想していましたが、想像以上に精神的にも、肉体的にもハードな内容だったと思います。パナソニックはフルメンバーでない中、チームとしての総合力の高さ、誰がコートに立っても高いパフォーマンスを発揮できる所は素晴らしいと思います。脅威に感じます。サンバーズの選手も2セットダウンの状態から下を向くことなく、最後まで戦ってくれたことが嬉しいですが、PLAY HARDで勝利を掴みにいきたいと思います。アウェーの中サンバーズへ応援くださった皆様、ありがとうございました。				
											22	第3セット	25
											22	第4セット	25
											16	第5セット	18
											要約レポート		V・レギュラウンドも残り3週となる中、1位のパナソニックパンサーズと2位のサントリーサンバーズの首位攻防戦がおこなわれた。第1セット、サントリーはムセルスキーのブロックやアタックでリードするが、パナソニックはジェスキーや西山のアタックで得点を重ねて逆転し、セットを先取した。第2セット、サントリーはムセルスキーにトスを集めてリードを奪い、アラインのサービスエースやブロックでリードを広げた。しかし、パナソニックは途中出場の清水のアタックや、山内やジェスキーのブロックなどで6連続得点をあげて追い上げ、アユースの末、このセットも連取した。第3セット、パナソニックは西山、サントリーはアラインのアタックで得点を重ね、一進一退の攻防が続いた。ここからサントリーがムセルスキーのブロックやアタックで一気にリードを広げ、セットを取り返した。第4セット、サントリーは大宅や藤中(謙)のブロックなどで4-0と先行した。パナソニックは西山の3連続アタックポイントなどで追いつくが、サントリーはアラインのサービスエースやアタックで再び突き放した。パナソニックは清水のアタックやエバデダンのブロックで追い上げるが届かず、このセットを落としてフルセットとなった。迎えた第5セット、13-13からパナソニックのジェスキーがアタックを決め、先にマッチポイントを迎えた。しかしサントリーはムセルスキーやアラインのアタックで食らいつき、最後は鬼木がブロックを決めて逆転で勝利した。

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント								監督コメント					
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント								監督コメント					
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント								監督コメント					
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		